

ハイアマチュアユーザー向けの外部ストロボ“スピードライト EL-5”を発売 高い基本性能と優れた操作性により快適な撮影を実現

キヤノンは、「マルチアクセサリシュー」を搭載した「EOS R システム」のミラーレスカメラ用アクセサリとして、ハイアマチュアユーザー向けの外部ストロボ“スピードライト EL-5”を2023年6月16日^(注1)に発売します^{※1}。



スピードライト EL-5



「EOS R6 Mark II」装着時のイメージ



優れた操作性を実現

“スピードライト EL-5”は、高度な通信機能を備えた「マルチアクセサリシュー」を搭載した「EOS R システム」のミラーレスカメラ用外部ストロボです。フラッグシップモデル「スピードライト EL-1」（2021年2月発売）の高い基本性能を継承しながら、「EOS R システム」との連動性の向上や小型設計を実現しています。

1. 高速充電や約 350 回^{※2}の発光可能回数など高い基本性能を実現

最大ガイドナンバー約 60^{※3}の大発光量を達成しながら、待機時間が短いスムーズな撮影が可能です。大電流の放電が可能な大容量のリチウムイオンバッテリーの採用により、発光後、ストロボ充電完了まで約 0.1～1.2 秒^{※2}の高速充電を実現しています。また、発光可能回数約 350 回を実現し、シャッターチャンスが長く続くシーンでも頻りにバッテリーを交換することなく撮影が可能です。

2. 小型設計と優れた操作性を両立

上位機種の高い基本性能を継承しながらも、幅約 80.2mm×奥行 123.3mm×高さ 139.9 mm の小型設計を実現し、長時間の手持ち撮影や持ち運びにおいて、利便性が向上しています。また、直感的な操作を可能にするジョイスティックや、視認性に優れた高精細液晶の表示パネルを採用することで快適な操作性を実現しています。

3. 快適な操作を実現する「EOS R システム」との連携

ストロボの設定を C1/C2/C3 の 3 つのカスタム発光モードに登録することが可能です。さらに、カメラとストロボを事前に連携しておくことで、カメラの撮影モードに連動してストロボの発光モードが自動で切り替わるため、シーンに最適な設定をスピーディーに選択することが可能です。また、「メニューダイレクト機能^{※4}」を搭載し、ストロボのジョイスティックを操作することで、カメラ内のストロボの設定をワンクリックで呼び出すことができます。

※1. 対応機種は、「EOS R3」（2021年11月発売）、「EOS R7」（2022年6月発売）、「EOS R10」（2022年7月発売）、「EOS R6 Mark II」（2022年12月中旬発売予定）。使用には、「EOS R6 Mark II」は2023年1月公開予定、「EOS R3」「EOS R7」「EOS R10」は3月公開予定^(注2)のカメラ側のファームウェアの適用が必要です。また、「EOS R3」「EOS R7」「EOS R10」と組み合わせで使用する場合は、一部機能に制限があります。なお、カメラからの給電には対応していません。

※2. 新品・フル充電のバッテリー「LP-EL」（同梱）使用時。キヤノン試験基準による。

※3. 発光量を示す値。ガイドナンバーが大きいほど、より遠くの被写体を適正露出で撮影可能。ISO100、照射角200mm時。

※4. 「EOS R6 Mark II」のみ対応。2022年11月2日時点。機能を使用するには事前設定が必要です。

(注1) 2023年6月8日更新：2023年3月9日に更新した発売予定時期（2023年夏頃）について、発売日が確定しました。

(注2) 2023年1月17日更新：ファームウェアのアップデート時期を修正しました。

製品名	希望小売価格	発売日
スピードライト EL-5	オープン価格	2023 年 6 月 16 日 (注1)

-
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0002
 - EOS ホームページ : canon.jp/eos

〈“スピードライト EL-5”の主な特長〉

1. 高速充電や約 350 回の発光可能回数など高い基本性能を実現

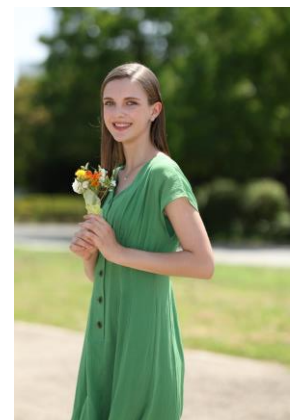
- 最大ガイドナンバー約 60 の大発光量を実現。また、ストロボ光の照射角は、レンズの焦点距離 24-200mm に対応。さらに、内蔵のワイドパネル使用時は焦点距離 14mm に対応可能。
- 大電流の放電が可能な大容量のリチウムイオンバッテリーの採用により、発光後からストロボの充電完了まで約 0.1~1.2 秒の高速充電を実現し、待機時間が短いスムーズな撮影が可能。
- 発光可能回数約 350 回を実現。発光可能回数が「スピードライト EL-1」の約 335 回から約 350 回へ増加。シャッターチャンスが長く続くシーンでも頻繁にバッテリーを交換することなく撮影可能。
- 約 95 回以上^{※1}の連続フル発光を実現。決定的なシーンを安定して連続撮影することが可能。
- 連続的な間欠発光により、カメラの同調速度を超えた高速シャッターでもストロボ撮影ができる「ハイスピードシンクロ」機能を搭載。強い逆光の中でも絞りを開放にできるため、背景をぼかしながら被写体を明るく浮き立たせることが可能。



ストロボなし



ストロボあり



ハイスピードシンクロによるボケ味を生かした表現

※1. 照射角35mm 時、レベル 2 の発光制限までの連続フル発光可能回数。新品・フル充電の「LP-EL」使用時。マニュアル発光時。キヤノン試験基準による。

2. 小型設計と優れた操作性を両立

- 「スピードライト EL-1」の高い基本性能を継承しながらも、高さを約 149.0mm から約 139.9mm へ約 9mm 短縮。さらに、質量は約 572g から約 491g^{※1}へ約 81g 軽量化。
- ジョイスティックの採用により、直感的な操作や確認が可能。また、頻繁に使用する操作はジョイスティックの上/下/左/右（4 方向）に機能のショートカットの割り当てが可能。
- 表示パネルに、視認性に優れた高精細液晶の表示パネルを採用。また、バッテリー残量表示に対応し、バッテリー交換のタイミングを予測しながら撮影が可能。



小型設計を実現

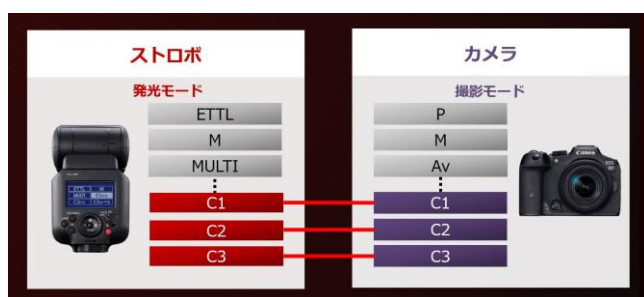


視認性に優れた高精細液晶の表示パネル

※1. 本体のみ、バッテリー別。

3. 快適な操作を実現する「EOS R システム」との連携

- ストロボの設定を C1/C2/C3 の 3 つのカスタム発光モードに登録することが可能。さらに、カメラとストロボを事前に連携しておくことで、カメラの撮影モードに連動してストロボの発光モードが自動で切り替わるため、シーンに最適な設定をスピーディーに選択可能。
- 「メニューダイレクト機能」を搭載し、ストロボのジョイスティックを操作することで、カメラ内のストロボのメニュー設定をワンクリックで呼び出し可能。
- カメラ側の AF 補助光の自動調光機能^{※1}に対応。被写体となる人物がまぶしさを感じにくいように、白色LED ランプの光量を自動で調整。瞳孔が開き、まぶしさを感じやすい夜景での人物撮影などで有用。
- 電波通信によるワイヤレス撮影時、センドーからの操作により、レシーバーのモデリングランプの点灯／消灯の制御が可能^{※2}。レシーバーを再点灯させたい場合、従来のように各レシーバーを 1 台ずつ巡回する必要がないため、作業効率が向上。
- 「EOS R6 Mark II」に新たに搭載された「クイックストロボグループ制御」に対応。カメラのライブビュー画面にグループ発光の設定画面をワンタッチ表示し、直接操作することが可能。
- コントロールリングで選択できるカスタマイズ設定の「調光補正」が「調光補正／発光量」に変更。調光補正だけでなく発光量の変更もコントロールリングによって操作が可能^{※3}。



カスタムモード連携のイメージ図



「クイックストロボグループ制御」に対応

- ※1. 「EOS R6 Mark II」のみ対応。2022 年 11 月 2 日時点。
- ※2. センドー、レシーバー共に「スピードライト EL-5」を使用した場合。
- ※3. 「EOS R6 Mark II」のみ対応。2022 年 11 月 2 日時点。

4. 防じん・防滴^{※1} 構造による高い信頼性

- 外装部品の合わせ面にシーリングを施すなど、防じん・防滴に配慮した構造を採用。
- 取り付け脚部分に「防じん・防滴アダプター」を装備。シューロック時にゴムのアダプターが下降することで、カメラ側のステージ部と密着し、防じん・防滴性能を搭載したカメラと組み合わせることで水滴や砂じんのストロボ接点部への侵入を抑制。

- ※1. 防じん・防滴性能を発揮させるため、電池室や端子カバーなどの開閉部をしっかりと閉じてください。ストロボは防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

<https://cweb.canon.jp/camera/eos/accessory/detail/5654c001.html>